

# オーガニックフラワー

生産地  
花材

三重県

キブシ

果実は、タンニンが多く含まれ、粉末は菌黒の原料としても知られています。幹は節がなく、丈夫で美しいため、傘の柄や木栓、爪楊枝の材料になります。



土佐水木

四国地方を原産とし、特に名前が示すように高知県の土佐に多く生息しています。葉の出る前に、花序に淡黄色の花を7~8個つけて下垂します。



ユキヤナギ

葉がヤナギに似て、白い多数の花が、雪をかぶったように見えることから名付けられました。散形花序が前年枝に多数つき、枝全体が一つの花序のように見えます。



ビバーナムティヌス

春から夏に花を咲かせ秋に青い実をつけます。光沢のある青い実は、クリスマスのリースにも使われます。



ビルベリー

北欧中心に生息する多年草です。小さい釣り鐘型のピンク・グリーンの花が春に咲き、熟すとブルーブラックの甘い果実になります。



ヒョウタンボク

花は初夏にはじめ白でのちに黄色に変わります。名前の由来は、紅い液果が2個合着して瓢箪状になることによります。

